

## 鉄軌道輸送の安全にかかわる情報（平成20年度）の訂正について 平成22年7月

平成21年10月27日に公表しました「鉄軌道輸送の安全にかかわる情報（平成20年度）」につきまして、一部の数値に誤りがございましたので、以下の通り訂正いたします。（赤字下線の部分が変更箇所になります。）

### ●鉄軌道輸送の安全にかかわる情報（平成20年度）〔概要版〕

#### 【P3】

		整備率	
		平成20年3月末	平成21年3月末
速度制限機能付きATS等	曲線部	84%	86%
	分岐部	37%	45%
	終端部	83%	87%
運転士異常時列車停止装置		64%	<u>71%</u>
運転状況記録装置		43%	<u>53%</u>
発報信号設備の自動給電設備		57%	70%

※ 特に危険性の高い急曲線における速度制限機能付きATS等の緊急整備については、平成19年3月末までに対象の264箇所全て完了しています。

### ●鉄軌道輸送の安全にかかわる情報（平成20年度）

#### 【P5】

○重大な事故を契機とした安全対策

平成17年4月に発生したJR西日本福知山線列車脱線事故等を契機として、曲線部等における速度制限機能付き自動列車停止装置(ATS)等、運転士異常時列車停止装置、運転状況記録装置等の設置を新たに義務づけるため、「鉄道に関する技術上の基準を定める省令」等の一部改正を行い、平成18年7月に施行しました。平成21年3月末時点における各装置の整備率は、曲線部への速度制限機能付き自動列車停止装置(ATS)等が86%、運転士異常時列車停止装置が71%、運転状況記録装置が53%などとなっています。

【P38】

表 14:技術基準改正に伴う施設等の整備状況

		整備率	
		平成 20 年 3 月末	平成 21 年 3 月末
速度制限機能付きATS等	曲線部	84%	86%
	分岐部	37%	45%
	終端部	83%	87%
運転士異常時列車停止装置		64%	<u>71%</u>
運転状況記録装置		43%	<u>53%</u>
発報信号設備の自動給電設備		57%	70%

※ 特に危険性の高い急曲線における速度制限機能付きATS等の緊急整備については、平成 19 年 3 月末までに対象の 264 箇所全て完了しています。